第4回懇談会メモ

2021年5月28日

加藤康之

FCTの位置づけ・役割分担明確化

• グリーンファイナンス市場拡大への対応

- 東京都・FCTの独自性を考慮して活動テーマを絞る。(既に金融庁・環境省などが基準づくりなどに動いている)
- 例) ロンドン、ニューヨーク、シンガポールなど世界の主要都市と共同プロジェクト(各都市のフィンテックの交流など)

• 資産運用・フィンテック事業者の増加

- ビジネスのプロモーションに注力する。
 - フィンテック企業間の情報交換、新規共同事業推進、資金調達のサポートなど
 - 海外フィンテック企業の国内ビジネス参入機会の紹介
 - 大手企業・地域金融機関とフィンテックとの新規共同事業推進、大手によるフィンテック企業の買収など

その他(英語化・情報発信・金融教育の強化)

- SNSを利用した情報発信・金融教育の強化
 - テレワークの若者が投資を始めている。
 - YoutubeやTikTokなど動画の効果は大きい。(参考: GPIFも2分半のESG解説をYoutubeにアップしている。
<https://www.youtube.com/watch?v=XtH1SKI9JKA>)
- スマホゲーム、漫画、アイドルの利用も
 - ゲームは実経験感が得られて効果的と思われる。
 - ゲームや漫画は作成・開発が問題だが、東京金融賞を利用してインセンティブを与えることも一案。

KPI(参考資料で指摘されていないもの)

- グリーンファイナンスマーケット
 - 東京に本社のある企業の排出炭素削減量の平均値
- 資産運用・フィンテック事業者増加
 - 評価機関、データベース会社、データセンター、法律事務所など資産運用業をサポートする事業者も対象とする
- 情報発信・金融教育
 - SNSやゲームを使う場合、そのダウンロード数